

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

平成26年11月5日 第2,305回 No. 2,077

会長：横田 一尊 ・ 幹事：山田 康裕 ・ 会員サービス委員長：宮澤 与一

E-mail：neast-rc@valley.ne.jp

URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

《ロータリーソング》

- 君が代・我らの生業・信濃の国
- 誕生日の歌

《会 長 報 告》

- みなさん、こんにちは！今日もようこそお越しくございました。心から感謝申し上げます。

さて、今日11月5日は『リンゴの日』だそうです。2001年に青森県が『いいりんご』の語呂合わせで制定したそうですが、実は既に1999年にJA長野県経済連（現・JA全農長野）が11月22日を『リンゴの日』と制定しています。これは『いいふじ』の語呂合わせですが『いい夫婦の日』と併せてこちらの方を全面的に展開して欲しいと願っています。

そして今月は『ロータリー財団月間』です。財団は最も重要な機関でありながら、案外とその内容は疎遠になっているのではないのでしょうか。

ポールハリスが1905年にロータリークラブを設立しましたが当時はお金が無く、何も事業ができませんでした。設立12年後にロータリー国際連合と言う組織を作り、1928年に正式にロータリー財団となったそうです。財団の意義は、会員各自が自由意思において寄付し、善意に満ちたもの個人の意思である事の3つの条件があります。

寄付金の使用目的は①教育的プログラム②人道的プログラムそして③文化的プログラムです。具体的には①国際親善奨学生②研究グループ交換（GSE）であり③6つの伝染病（麻疹、結核、ジフテリア、破傷風、百日咳、そしてポリオ）を地球上から撲滅する事を目指すポリオプラスと④飢餓追放、人間性尊重です。

寄付の方法は、①ポールハリスフェロー②ポールハリス準フェロー③マルチプル・ポールハリスフェロー、そして④ベネファ

クターです。会員の皆様に財団の意義を深くご理解いただき、ロータリーの世界貢献が深まる事を訴えるのが今月のテーマです。

尚、本日はクラブ総会です。次年度、次々年度の基礎を固める大切な議案です。慎重且つ積極的なご審議をお願いいたします。以上で会長報告を終わります。

《誕 生 祝 い》

- 今月お誕生日をお迎いの皆様おめでとうございます。

ご本人：久保田 甫君、鷺澤 正一君
春日 英廣君、原 徹爾君
佐藤 忠幸君、鈴木 明治君
奥山 哲君、堤 満弘君
原田 政和君

《お誕生日の歌》

- ご夫人がお誕生日をお迎いの皆様には、お花を届けさせていただきます。

ご夫人：鷺澤 正一君（迪子さん）
春日 英廣君（恵子さん）

《在 籍 賞 表 彰》

- 11月入会の皆様おめでとうございます。
和田 守也君 41年、篠原 寿人君 30年
渡辺 敬六君 27年

《幹 事 報 告》

- 理事会報告
本日例会前に理事会を開催いたしました。
- 10月理事会議事録を承認いたしました。
- 次々年度会長候補選考の件、並びに次期役員委員会構成決定の件について承認いたしました。
- 長野東ローターアクトクラブと長野ローターアクトクラブの共同事業について審議いたしました。皆様のご協力をお願いいたします。

- 「SAKUJI 作戦」について審議いたしました。掲示板に詳細がございますので、ご覧ください。会員増強の為、ロータリアンが他地区の入会候補者を推薦するシステムとなります。

○ 例会変更のお知らせ

長野南 RC 11月17日(月)夜間例会の為、休会いたします。
 11月24日(月)振替休日の為、休会いたします。
 12月8日(月)忘年家族夜間例会の為、時間と場所を変更いたします。
 12月15日(月)職場例会の為、時間と場所を変更いたします。
 12月29日(月)理事会の決定により休会いたします。
 1月5日(月)理事会の決定により休会いたします。
 1月12日(月)法定休日の為、休会いたします。
 1月19日(月)新年夜間例会の為、時間を変更いたします。
 ※いずれも定刻受付はいたしません。

長野北東 RC 11月24日(月)振替休日の為、休会いたします。
 12月8日(月) I.M. に振替休会といたします。
 ※いずれも定刻受付はいたしません。
 12月22日(月)クリスマス夜間例会の為、時間と場所を変更いたします。
 ※定刻受付をいたします。
 12月29日(月)理事会の決定により、休会いたします。
 ※定刻受付はいたしません。

長野西 RC 12月12日(金)年末家族会の為、時間と場所の変更をいたします。
 ※定刻受付をいたします。
 12月26日(金)理事会の決定により、休会いたします。
 ※定刻受付はいたしません。
 1月2日(金)理事会の決定により、休会いたします。
 ※定刻受付はいたしません。
 1月30日(金)創立記念例会の為、時間と場所の変更をいたします。
 ※定刻受付をいたします。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 64名	30名	34名	46.87%
前々回 10月15日	訂正出席率		100%

《ニコニコボックス》

誕生日祝い：久保田 甫君、吉澤 俊一君
 佐藤 忠幸君、鈴木 明治君
 原田 政和君、奥山 哲君
 夫人誕生日祝い：北野 敬造君
 在籍賞：篠原 寿人君、北野 敬造君
 遅刻：和田 晶宜君
 早退：立岩 久忠君、北野 敬造君
 山崎 由和君
 無届け欠席：原田 政和君

○ 今般、国土交通大臣表彰を頂戴いたしました。今後、精進してまいりますのでよろしく願います。 和田 晶宜君

○ 欠席続き申し訳ございません。 北野 敬造君

○ 鷲澤正一君、春日英廣君、綬賞おめでとうございます。 原田 政和君

○ 3分の1が過ぎました！あと8ヶ月です。よろしく願います。 横田会長

《前月ニコニコボックス報告》

10月/4回 57,000円 累計 281,400円

《本日のプログラム》

○ クラブ総会
 議長 横田会長 幹事 山田幹事
 本日の議案は次々年度会長候補選出の件であります。長野東ロータリークラブ細則第1条役員を選出 第1節、第1項に「会長(次々年度)の選出は11月の第1例会において立候補を求める。会長は次期役員候補指名委員会の人選をし、総会に諮り決定する。」とあります。次々年度会長に立候補される方は挙手をお願いします。

立候補がございませんので歴代会長による次期役員候補指名委員会を設置しまして、候補者を人選し、12月3日のクラブ総会にて皆さんにお諮り、決定したいと存じますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。ご承認いただきましたので、そのように進めさせていただきます。

尚、次期理事・役員・委員会構成 決定につきましては、長野東ロータリークラブ細則 第1条役員を選出、第2節に「会長・副会長・幹事・会計以外の役員、組織については、会長・幹事・次年度会長・次年度幹事の協議により原案を決定し、総会に諮り決定する。」とあります。細則に従い現在準備を進めさせていただいております。12月3日の総会にて次々年度会長候補者と合わせ皆さんにお諮りいたしますのでご承知置きください。

○ クラブフォーラム

《文化学園長野高等学校インターアクトクラブ》

○ 東北研修報告書

1年 竹前 亜海

私は8月18・19日の日程で、震災から約3年半経った現地に行くことができました。出発前には、事前学習として、見学先を自分なりに調べてから参加しました。

まず、今研修のオリエンテーションとして、石巻市の「ピースボート災害支援センター石巻」で、映像を見ながら詳しい説明を聞きました。映像は自分が思っていたよりも残酷で、見ているだけで怖くなりました。そして、担当の奥村さんから、「1.復興ってなんだろう?」「2.災害によって抱えることになった問題ってなんだろう?」「3.災害とは関係なく抱えていた問題ってなんだろう?」という3つの課題を出されました。

2日間の研修で、私が得た3つの課題の答えの、1は、被災地の方々が、安全・安心に前の生活に戻ることができること。2は、若い方々が町から出ていき、町全体が機能しなくなること。3は、小さな村や町の過疎化が進んだこと、でした。

そして、この研修を通して感じたことは、地元の方々はとても温かい人が多いこと、テレビの前で映像を見ることと実際に自分の目で見ることは、感じ方も気持ちも全くちがうということです。実際に見ることで自分の防災意識も高まると思います。この体験を、これから生きていく人生で忘れないようにしていきたいと思いました。

この貴重な経験を活かして、今後の活動に役立てていきたいと思っています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。被災地が1日早くも早く復興し、東北の方々が安心・安全な普段通りの生活を営めるように願っています。

1年 佐藤 希衣

「ピースボートセンターいしのまき」で東日本大震災による被害状況の把握、現在抱えている課題について映像などで説明をしてくださいました。正直、津波が来た時の様子を映像でみたのは久しぶりだったので、本当にそんなことが起こったのだという事実を、改めて認識させられました。また、現地でその映像をみることでより印象に残りました。

その後、私たちはその映像でみた場所へ実際に行ってきました。途中までは車で行き、門脇小学校周辺で降車し、石巻の街を歩きました。街歩きで一番印象に残ったのは、門脇小学校裏の、3.11にこの地域に住む住民たちが駆け上った階段です。この階段はとても急で、段の幅も高く、膝を股の高さまで上げなければ、容易には上れないような高さでした。実際に、私たちはその階段を上ってみました。私が率直に思った

ことを一言で表すと、「キツイ。」でした。しかし、私はまだ10代です。3月の寒い中、あの階段を駆け上った、お年寄りや幼い子供たちは、もっときつかったのではないかと。しかし、駆け上らなければ助からない。そう思うと、これしきの事ではへばってられないなと思いました。このような、実際に被災者が避難路として通った場所、道に行き、体験したのは初めてなので、よい経験になりました。

この東北研修を終えて、私が思ったことは、まだまだ復興は進んでいない、ということ。元の石巻市に戻すのではなく、新しい、より素晴らしい、活気にあふれた街を、作ってほしい、と思いました。

1年 片桐 陽菜

2日目は、大川小学校と、雄勝町のローズファクトリーガーデン、女川町を見に行きました。まずは、大川小学校です。大川小学校は一番被害が大きかった小学校です。海から4キロ離れていたし、今まで津波が来たことがなくて、先生たちもそれを信じてしまい、校庭で点呼をとっていたら、津波が一気に襲いかかってくるという悲劇が起きました。ですが、これは仕方がないと、私は思います。誰も責めてはいけません。これは自然が起こした災害です。悔しくて悲しいと思うけれど、誰にも何も言う権利はないと私は思います。

次に行ったのは、雄勝町のローズファクトリーガーデンです。これは、3.11の巨大津波で壊滅した雄勝町を、花と緑の力で復興するために、被災地の皆さんが立ち上げたプロジェクトです。ここには、皆さんの、復興したいという気持ちが詰まっています。このお花を希望に、頑張してほしいと思いました。最後に行ったのは女川町の「きぼうの鐘商店街」です。ここは、女川駅にあった鐘が流され、がれきの中から見つかったので、「きぼうの鐘」と名づけた鐘をシンボルとし、復興のために作った商店街です。この商店街には、たくさんのお店がありました。ここで、お昼のカレーを買いました。女川町のカレーは、被災した時にも食べたもので、当時はお肉の取り合いになるからと挽肉を入れたり、腐敗しやすいジャガイモを入れなかったりと、工夫したそうです。いろいろと苦労したのだと思いました。

私は、今回、実際に被災地に行き、復興はまだ完全ではないけれど、石巻の皆さんが笑顔で頑張っている、その姿にとっても感動しました。そんなことは簡単ではないと思うから、すごいと思いました。だから、これからも頑張りたいと思います。

1年 関 秀朗

1日目、避難した人が駆け上がった高台で、そこにいたおじいさんから話を聞くことができました。階段の途中で亡くなった方が、大勢いたそうです。人の命より自分、命からがら逃げた人は、夢にも出て来ると言っていました。そのような記憶は根強く残り、今でも苦しみ続けていると初めて知りました。

ここに来る前、私は知ったかぶりでしたが、この1日目は、自分でも衝撃を受けることだらけでした。たぶんそれは、被災地のことを気にしなくなった自分がいるからではないかと思いました。

旧北上川の中洲にある石ノ森漫画館に臨む、仮設商店街では、もうじきこの辺りには、大きな堤防ができてしまうと聞きました。堤防建設計画の時は、多くの住民が反対したそうです。なぜなら、生活を共にしてきた川が、見えなくなってしまうからです。しかし、堤防の高さを、当初の計画の9mから、4.5mにすることで、承認されました。私は、低くするなら造らなければいいと思いましたが、一方で、堤防の工事で得をする人もいます。むずかしい問題だと思います。

2日目、雄勝町の徳水利枝さんから、近くの小学校では、津波警報が出たとき学校では避難しようとしなかったけれど、地域の人がいいから逃げると言い、何とか助かったと聞きました。過去の経験でわかっていたからだそうです。この、3.11も教訓になるはずだけど、語り継ぐ人がいなければ、だれも知らない震災になってしまうと思いました。その後、女川の街を見ました。逆さになった建物、震災の遺物として残すものもありました。街の高台にある病院にも行きました。そこにも悲劇はありました。なんと、後ろから津波が来たそうです。山の道をものすごいスピードで上がってきたそうです。ここでまた、たくさんの方が亡くなってしまいました。

私が、この研修を通して感じたこと、考えたことは、この3.11を語り継いでいくこと。まずは、それが一番。しかし、現実を知っていないといけない。だからこそ、3.11をよく知り、今後の減災、防災につなげることが一番大事だと思いました。

○ 地区大会参加報告

3年 福澤 美緒

私たちは青少年アワーに出させていただきました。各校の代表者が一言ずつ挨拶をし、活動内容の詳細は模造紙に書いたものを掲示していただきました。他校の普段の活動を知ることができ、自分たちのクラブのこれからを考える良いきっかけになりました。

また、3月に行かせていただいた、オーストラリア海外研修の報告もさせていただきました。現地を訪問し、感じたこと、学んだことを多くの人にお伝えすることができ、嬉しく思いました。この研修における私の最大の収穫は、漠然としていた私の将来の夢が、明確になったことであり、発表の機会をいただいたことで、夢の実現に向けてさらに努力をしようという決意につながりました。

青少年アワーへの参加によって、他校の懐かしい仲間とも再会できました。今回はこのような貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。

《11月12日のプログラム》

- 会員卓話
小林 昌和君

《11月12日のメニュー》

- 洋コース
 - ・生ハムとハクサイ、水菜のシーザーサラダ
 - ・牡蠣とホタテのロックフェラー風
 - ・ロイヤルミルクティーのガトー
 - ・パン
 - ・コーヒー

=次週予告=

《11月19日のプログラム》

- ゲスト卓話
米山記念奨学生
リチ・クルニア・アリフさん

《11月19日のメニュー》

- 和定食
 - ・メサンマとカンパチの造り
水前寺のりを添えて
 - ・カニフライ 特製タルタルソース
 - ・きのこのおろし和え
 - ・栗ごはん
 - ・赤だし
 - ・果物